総合診断講座

新規設定 グループミーティング（昨年度の復元図面を確認）

受講生自身の復元図を使用したグループミーティング形式で弱点分析を図ります。
また早期から受講生間のコミュニケーションを活性化し「教室全員が合格する」ことの意識を共有します。

改訂強化 目指すべき作図レベルの確認／正しい図面の描き方の確認

知識（わかる） → 用具の使い方、線の引き方を確認します。
実習（できる） → 作図パーツトレーニングを使用し、実際に手を動かして確認します。

強化改訂 作図実習／目標とする作図レベル（精度・スピード）を確認

受講生作図スタートと同時に学院の求める速度の作図完成動画を同時に放映。
作図スピードを体感し、作図力強化を図ります。

基準点クリア講座 1回目

大幅改訂 知識と課題を使用した実践力の早期修得

講義で学んだ知識を、専用の課題を使用しながら段階的に定着度を確認することで、
『今、学んだ知識』が、課題攻略の『どこに活かされる』のか、を直接リンクさせます。

『わかる』⇒『できる』⇒『表現豊かに描ける』を実践レベルで確認しながら習得できるカリキュラムに大幅改定

大幅改訂 作図力の徹底的な強化

基準点クリア講座では毎回、時間配分に重点を置いた作図実習を実施します。
この時期に正しい手順、各段階の時間間隔を徹底して繰り返し指導します。

大幅改訂 説明できるレベルまで要点記述力を引き上げる

計画の要点記述についても、講義で学んだ知識を、実際に実習で使用した課題で確認（実習）を行います。
『今、学んだ知識』を用いて、記述することの『合理性・有効性』を体感し、確実に記述力の定着を図ります。

基準点クリア講座 2回目

新規設定 グループミーティング（設備計画の理解状況を確認）

質疑応答を兼ねて受講生の理解状況を事前に把握することで、
自教室の習熟レベルに合わせ『弱点克服』に重点をおいた講義を実施します。

大幅改訂 設備計画実習 わかる→できる→説明できる→応用できるレベルへ

①設備の『原理・原則』を学習（わかる）
　→ ②複数の設備方式が指定された専用課題を用いて、実際に設備計画を実施（できる）
③採用した設備計画を記述（説明できる）
　→ ④同じ課題で条件を変えて異なる設備方式の計画を行うことで、それぞれの違いと使い分けを学習（応用できる）

新規設定 グループミーティング（当日完全理解の徹底）

設備は、特に苦手な受講生が多く、完全理解に時間がかかるため当日は再度グループミーティングを行います。
『わかったつもりを無くす』よう、理解度の確認と質疑応答を徹底し、当日完全理解を図ります。

基準点クリア講座 3回目

新規設定 グループミーティング（構造計画の理解状況を確認）

質疑応答を兼ねて受講生の理解状況を事前に把握することで、
自教室の習熟レベルに合わせ『弱点克服』に重点をおいた講義を実施します。

大幅改訂 構造計画実習 わかる→できる→使える・説明できるレベルへ

例年、梁伏図経験がない受講生も多く、『原理・原則』の講義後は
基本（できる） ⇒ 実践（使える） のステップアップ方式で知識定着を図るカリキュラムに大幅改訂

強化改訂 作図実習

①自己プランで梁伏図・断面図を作図し、確実なフレーム（架構計画）の理解度と定着度を確認します。
②X方向、Y方向の2方向切断トレーニングにより構造フレームを立体的に構成するために必要な知識の理解度と定着度を確認します。